



令和6年度宇都宮市予算概要

予算の規模

令和6年度当初予算の規模は、一般会計2,296億5千万円、特別会計1,240億円余、企業会計511億円余、総額では、4,048億円余を計上しました。
前年度比107億円程度の増となり、過去最大の規模となりました。

会計名	令和6年度 当初予算	令和5年度 当初予算	比較	
			増減	増減比
一般会計	229,650,000千円	218,980,000千円	10,670,000千円	+4.9%
特別会計 (11会計)	124,006,574千円	119,011,461千円	4,995,113千円	+4.2%
企業会計 (3会計)	51,168,891千円	50,069,164千円	1,099,727千円	+2.2%
合計	404,825,465千円	388,060,625千円	16,764,840千円	+4.3%

予算の特徴

- 宮っこが安心して健やかに成長できる環境づくりの推進
- 魅力ある都市空間の形成と
公共交通ネットワークのフル活用
- 地域共生社会・地域経済循環社会・脱炭素社会の
3つの社会の創出
- デジタル技術の利活用の推進
- 安全・安心なまちづくりの推進



佐藤市長に要望書を提出
(令和5年11月22日)

これからも、小さな声や意見にも耳を傾け、子育て支援、教育環境の整備、男女共同参画社会の実現、犬・猫の殺処分ゼロ、大谷地域を中心とした観光振興及びび中心市街地のイベントによるまちづくりなど、市民の皆様と同じ目線で議会活動に行動力と実行力を持って取り組んでまいります。

宇都宮市の令和6年度当初予算が3月22日の市議会本会議において可決・成立致しました。我が会派では、市民の声をきちんと市政に届けることを基本理念に、誰もが性別にとらわれず安心して幸せに暮らせる市民に寄り添った予算編成を要望してきました。その結果、低所得世帯の子どもに対する大学等受験料の支援や職場環境づくりを実施する企業への助成、大谷地域など北西部地域における観光振興の推進などの取り組み等に反映されることです。そして、我が会派の要望事項は、本市の施策・事業を進める中で実現されていくと思います。



宇都宮市議会 会派
清風クラブ
会長 渡辺 道仁

会派の 宇都宮市予算要望に対する回答(抜粋)

重点要望 ■ 1子育て・教育・学習分野 ■ ■ ■
◎特別支援教育の充実

・障がい等のある児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに対応するため、市独自に、特別支援学級担当や医療的ケアを行う支援員などの会計年度任用職員を配置し、きめ細かな支援の充実に努めている。令和6年度においても、引き続き、教職員研修などを通して、特性に応じた授業力の向上を図り、すべての児童生徒が自らの力を最大限発揮できるよう、特別支援教育の充実に努める。

重点要望 ■ ◎給食費の無料化

・給食費については、施設の維持管理や調理員の人件費に加え、光熱水費についても市が負担し、食材費に係る費用のみを保護者に負担いただくなど、負担軽減に努めている。今後も、物価高騰など社会経済の状況や国・県の動向を注視しながら、保護者の負担軽減への配慮に努める。

重点要望 ■ 2健康・福祉・医療分野 ■ ■ ■

◎妊婦への健診時に利用できる
タクシーチケットの配布

・携をより一層強化し、情報発信の充実に努める。

重点要望 ■ ◎ジャパンカップサイクルロード
レース会場における、利用者の
ための駐車場整備

・令和6年度においても、ジャパンカップ観戦者のおもてなしの充実に向けて、これまでの利用状況を踏まえながら、駐車場の更なる確保に努める。

重点要望 ■ 5産業・環境分野 ■ ■ ■

◎ひとり親家庭自立支援対象世帯
に対する就労支援策の強化

・令和6年度においては、仕事と子育ての両立が図られるよう、国

・令和5年4月に、妊婦健診の送迎などに対応する子育てタクシーの導入を促進するため、「宇都宮市子育てタクシー導入支援補助金」を創設し、この補助金を活用したタクシー事業者により、令和5年9月から子育てタクシーの運行が開始されたところである。令和6年度においても、引き続き、子育て家庭の負担軽減に向けた経済的支援や子育て環境の一層の充実に取り組む。

重点要望 ■ ◎医療的ケア児の支援の充実強化
と保育所等訪問支援員及び言語
聴覚士等専門員の増員

・医療的ケア児の支援の充実強化については、本人及び家族の経済的負担の軽減と療養生活の質の維持向上を図るため、令和5年4月に「医療的ケア児等福祉手当」を創設したほか、さらに、子ども発達センターにおける療育時間を午後3時までから、午後5時まで延長時間とする。

重点要望 ■ 3安心・協働・共生分野 ■ ■ ■

◎女性活躍推進企業へ支援のため
の助成金の実施

・令和6年度においては、新たに企業における女性が働きやすい

回答 ■ 回答 ■
の動向を注視しながら、就業のための資格取得を目指すひとり親家庭に対する給付金制度の拡充を検討するとともに、引き続き、母子・父子自立支援員による各種修学・就業支援制度の案内や、相談者に合った自立支援プログラムの作成支援を行うなど、個々の家庭状況に寄り添いながら、きめ細かな支援に取り組む。

重点要望 ■ ◎脱炭素社会の実現に向けた企業
向けセミナーの実施

・「宇都宮市SDGs人づくりプラットフォーム」の勉強会や会員交流会などにおいて本市の脱炭素の取組を紹介している。令和6年

回答 ■ 職場環境づくりに向けた取組に対する補助金を創設するなど、女性がいきいきと活躍できる職場環境づくりに向けた取組を推進する。

重点要望 ■ ◎オリオン通りやJR宇都宮駅東
口等繁華街における治安維持の
対策強化

・本市においても、商店街が実施する防犯カメラの設置や警備員による巡回等の安全安心に係る取組に対し、補助制度を拡充するとともに、人通りが多くなる令和5年12月末には、深夜帯のオリオン通りの見回りを実施した。令和6年度においても、引き続き、警察や地域、商店街等と連携した対策に取り組み、安全・安心の向上に努める。

重点要望 ■ 4魅力・交流・文化分野 ■ ■ ■

◎大谷コネクトを中心とした様々な
観光拠点との連携と情報発信の
強化及び新たな観光振興の確立

・大谷コネクトを中心とした様々な観光拠点との連携や情報発信の強化については、大谷コネクトにおいて、大谷資料館などの観光施設はもとより、森林公園やろまんちっく村などの北西部エリアの観光施設や中心市街地への周遊に繋がられるよう、令和6年度においても、引き続き、大谷コネクトの機能を最大限に発揮しながら、関係機関との連

回答 ■ 度においても、引き続き、関係機関と連携しながら、様々な機会を捉えて周知啓発し、事業者における脱炭素化の促進を図る。

重点要望 ■ 6都市空間・交通分野 ■ ■ ■
◎公営住宅入居における裁量階層
世帯条件の中で、子育て支援の
観点より、小学生の子どもが
いる家庭まで範囲を拡大

・裁量階層世帯については、民間の賃貸住宅において入居を制限されている単身高齢世帯など、特に居住の安定を図る必要がある世帯に対し、市営住宅への入居の際に収入基準を緩和するものであることから、今後、子育て世帯からの市営住宅への入居相談の内容や申込状況などを踏まえながら、裁量対象世帯の対象範囲について検討する。

重点要望 ■ ◎地域住民とのトラブル解消に必
要な太陽光発電施設の適正な設
置にかかわる条例の制定

・太陽光発電施設の適正配置については、国のガイドラインや県の指導指針などに基づき、事業者に対し、関係法令の遵守や地域住民に対する十分な説明等について指導・助言を実施している。令和6年度においては、再生可能エネルギーの導入促進と地域の自然・生活環境との調和を図るための条例について、引き続き、調査・研究する。

宮原運動公園野球場 が供用開始します



令和4年度から改築工事を実施していた宮原運動公園野球場の整備が完了し、4月1日から供用が開始になりました。野球場のバックネット側には屋根が設置され、エレベーターや多目的トイレをはじめとしたバリアフリーに対応する球場になりました。宮原運動公園は、平成29年度から再整備を実施しており、これまでに遊具や水遊び場が設置されるほか、テニスコートが改修されています。また、今後は、東側駐車場や3×3のコートが整備される予定です。

新里町に 「北西部地域体育施設」 を整備します



提供：宇都宮市

市では、北西部地域における生涯スポーツ活動の拠点となる施設の整備に向け、取り組んでいます。「子どもから高齢者までがスポーツの楽しさに触れ、継続して活動できる施設づくり」、「誰もが気軽に利用でき、活発に利用される身近な施設づくり」などを整備方針として、令和4年3月に「基本計画」を策定し、令和5年度には、基本設計を実施しました。今後は、設計と施工を一括で担う事業者の募集・選定を行い、令和7年度から整備工事に着手する予定です。

渡辺道仁議員 一般質問

令和6年
3月定例会



質問項目

- 1 市長の政治姿勢について (1) 令和6年度当初予算案について (2) 移住・定住の促進について (3) 本庁舎のトイレについて (4) 学校給食残渣の資源化について (5) 自治会等に対する資源物集団回収報償金について (6) 納税関連案内の多言語通知について
- 2 大谷地域の振興策について
- 3 教育行政について
- 4 消防行政について
- 5 北西部地域体育施設整備事業について

質疑応答の全文を
視聴できます。
【宇都宮市議会
ホームページ】



本庁舎のトイレ機能の強化・充実について

本庁舎は毎日多くの様々な方々が訪れ、車椅子の利用者や身体の弱い人も来庁していると考えられる。本庁舎のトイレの洋式化率はどのくらいか。また、今後トイレの洋式化を

行う上で、最終的にどの段階まで整備を行うのか。多様化する市民ニーズ等に対応するため、多目的トイレについては、今後どのくらいの整備を考えているのか見解を伺う。

大谷地域の振興策・大谷公園の再整備について

大谷公園を、体験と移動をする間にゆっくり休息しながら、岩肌の景観を堪能できる場所として、ウォーカブ

ルなまちづくりの中心拠点とすべきと考えるが、来年度以降、どのように再整備していくのか見解を伺う。

答弁 令和9年度の工事完了に むけ再整備を推進する

【市長】「大谷コネクト」や「大谷寺」など、観光資源の集積した「セクターコア」に位置する「大谷公園」の再整備について、地域の皆様のご意見を伺いながら取り組

んでいる。令和5年度においては、「周遊性の向上」や「賑わい、憩いの空間創出」、「大谷石文化の発信、伝承」などの実現に向け、展望スポットである「視点場」や休憩スペースの新設などの内容について、設計を進め、具体化してきた。新年度においては、7か所の「視点場」につい

答弁 全てのトイレの洋式化を 進め、多目的トイレに についても検討する

【理財部長】「本庁舎のトイレの洋式化率」については、令和5年度末現在で60・4％であり、1階や2階、さらに14階や16階など来庁者の利用が多いフロアのトイレにつきましましては、新年度に洋式化が完了する見込みとなっている。また、「トイレの洋式化整備をどの段階まで行うのか」については、和式トイレが残る3階以上のフロアにおいても、職員のほか来庁する全ての方が安心して快適に利用できるよう、全てのトイレの洋式化を進める。

本庁舎の全てのフロアに多目的トイレを整備することが望ましいと考えているが、スペースの確保や配管の新設など大規模な改修が見込まれることから、今後、整備内容や時期、手法などを検討する。

「平和観音」や「天狗の投げ石」など象徴である資源をより効果的に見せるため、緑との調和を図る剪定などの修景整備を進め、令和7年度からは、あずまや、ベンチなどの休憩施設を設置するとともに、大谷石の歴史を深く知っていただく情報発信板を配置する。令和9年度の工事完了に向けて、再整備を推進する。



大谷公園風景

清風クラブ 所属議員

身近な議員を中心に
ご意見・ご感想をお寄せください

皆様方の声をきちんと行政に届けるためにこれからも頑張ってまいります。



会 長
わた なべ みち ひと
渡 辺 道 仁

城山・大谷地区 等

- ▶ 環境経済常任委員会
- ▶ 地域共生・地域経済循環社会調査特別委員会

● 6期



幹 事 長
ひら まつ あき お
平 松 明 夫

宇都宮市・全域担当

- ▶ 建設常任委員会
- ▶ 脱炭素社会調査特別委員会
- ▶ 広報広聴委員会

● 2期

◆ 宇都宮市田野町595-47

◆ TEL 028-652-7200

◆ 宇都宮市東峰町3060-3

◆ TEL 028-666-7085

とさびテレビで絶賛放送中!!

市ホームページからも視聴可能です